

第34回熱測定ワークショップ
『各種熱容量測定法をどのように活用するか？』

日本熱測定学会の第34回ワークショップを熱測定討論会・日本熱物性シンポジウム共同開催のワークショップとして、ジョイントシンポジウムの機会に、下記の要領で行います。

熱物性および熱測定を通じて、熱容量測定を行っている研究者の交流を広め深めるために、各種熱容量測定法について、長所のみならず、短所もふくめた本音の議論を展開することを意図し、ショートスピーチを行い、それをキックオフとしてパネルディスカッションを行うことを計画しています。各測定法についてご造詣の深い先生を講師にお招きし、ショートスピーチをお願いいたしますとともに、パネル討論により、さらに議論を深めたいと考えております。

目 的：最も重要な基本量の一つである熱容量の測定について、原理および測定上の長所、短所、問題点、各測定法間の相関など、それぞれの測定法の特徴および測定上の注意点を明らかにし、お互いの測定法の利点を引き出すこと、さらに、これを機会に熱容量測定を行っている研究者間の交流を広め深めることを意図しています。

世話人：石切山一彦，川路 均，菊地昌枝，森川淳子

プログラム：各種測定法をめぐるショートスピーチとパネル討論

【ショートスピーチ】

- ・断熱カロリメーター(低温)・緩和型カロリメーター(低温) (東京工業大学) 川路 均
- ・断熱走査熱量計(高温)・落下式熱量計(高温) (名古屋大学) 松井恒雄
- ・示差走査型熱量計(室温) (東リサーチセンター) 石切山一彦
- ・示差走査型熱量計(高温) (産業技術総合研究所) 加藤英幸
- ・レーザーフラッシュ法 (中央大学) 高橋洋一(予定)
- ・acカロリメーター・周期加熱法 (東京工業大学) 八尾晴彦

【パネル討論】

司会：八田一郎

パネリスト：上記ショートスピーチを行った方々

*さらに、講演者の方々の他に、上記の測定法に携わっている方々に参加をお願いし、活発な討論ができるように工夫いたしたいと考えております。

日 時：11月19日(月) 14:00～18:00

会 場：仙台国際センター 白檀の間

参加費：日本熱測定学会会員，日本熱物性学会会員および協賛学協会会員は無料，非会員は1,000円
(資料代込み)

討論の内容の公開：「熱測定」に掲載し，広く皆様にご活用いただけるように工夫いたします。

参加申込方法：参加者氏名(ふりがな)，所属団体名，所属部署名，連絡先(住所，TEL番号，FAX番号，e-mailアドレス)をFAX，またはe-mailにて2001年10月31日までに下記宛お申し込みください。
なお人数に余裕がある場合は，当日の受付も行います。

連絡先・問合先：日本熱測定学会 34WS 係 〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-6-7 宮沢ビル601

TEL. 03-5821-7120，FAX. 03-5821-7439，e-mail: netsu@mbd.nifty.com

URL: <http://www.soc.nii.ac.jp/jscta/index.html>

熱容量について，熱測定分野・熱物性分野を問わず広くご関心をお持ちの方々の積極的なご参加を，お待ちしております。